

株式会社マックハウス 株主総会議事要旨

日時：2014年5月21日 10:00～10:48

場所：芝萬ビル3階（株式会社チヨダ内）

議決権総数 153,182 個 株主数 2,799 名

議決権行使数 140,387 個 行使株主数 899 名

1. 第24期監査報告

2. 第24期事業報告

3. 質疑

<質問1>（質問者 株式会社ストラテジックキャピタル 丸木）

昨年10月と本年2月に下方修正を行い、大幅減益となった。この下方修正の理由として、滞留品の処分販売による損失が大きかったと理解している。招集通知P.2にも「在庫処分等が響き」と記されている。2011/2期も赤字になっており、過去には数年に一回このような理由で減益または赤字になったとも聞いている。

2014/2期にこのような滞留品の処分販売を行うことは、いつ決めたのか。期初から判っていたのではないのか。すなわち、滞留品処分を踏まえて業績予想を公表していたはずで、業績下方修正の本当の理由は売上の不振等ではないのか。

<回答1>（回答者 白土社長）

在庫の評価は会計士とルールを決めてやっている。思い切って処分しようと社長として判断した。この業界は構造的に厳しい。外資も参入している。売上が奮わなかった一番の要因は天候である。

<質問1-2>（質問者 株式会社ストラテジックキャピタル 丸木）

要は、滞留品の処分は期初から判っていたことだが、想定通りの価格では処分できなかったということの良いのか。

<回答1-2>（回答者 白土社長）

その通り。

<質問2>（質問者 株式会社ストラテジックキャピタル 丸木）

過去にも同様なことが起きていた。過去の期末時点での「商品」の評価は正しかったのか。粉飾ではないのか。今後このようなことが起きないようにどうするのか。

<回答2>（回答者 白土社長）

粉飾と言われることは心外。在庫の評価基準を厳しくすると同時に毎週処理をしていく。

今後は、ご懸念のようなことは起きない。

<質問 3> (質問者 株式会社ストラテジックキャピタル 丸木)

2014/4/10 発表の中期経営計画について、具体的に、どのような施策により、どの分野の売上や利益を伸ばして、これらの目標を達成するのか。

<回答 3> (回答者 白土社長)

実需品と生活雑貨で伸ばしていく。詳しくは担当から説明する。

(回答者 杉浦取締役)

まず、下着の売上比率を伸ばす。現在 1~2%であるものを今期 50%増、その後 20%増、20%増とする計画 (カジュアル衣料は売上比率 97%)。

ライフスタイル生活雑貨を一店舗当たり年間 600 万円で、全体で約 20 億円の売り上げ増。これらにより、売上総利益率は 47.5%⇒48%⇒48.5%としていく。

<質問 4> (質問者 株式会社ストラテジックキャピタル 丸木)

中期経営計画の進捗状況は、半年毎の IR 説明会でレビューして欲しい。また、中期経営計画は、経営陣及び社長としての投資家との約束と考えて良いか。

<回答 4> (回答者 白土社長)

当然、公表した以上は、中期経営計画は約束である。

4. 議案毎の説明・審議

<質問 5> (質問者 株式会社ストラテジックキャピタル 丸木)

社外取締役候補の石塚氏は「いちごアセットマネジメント」の執行役員であるが、当社の 5 位株主かつ、当社の親会社のチヨダの約 13%を保有する「いちごトラスト」とどのような関係にあるのか。

<回答 5> (回答者 白土社長)

つまびらかには判らない。

<意見 1> (質問者 株式会社ストラテジックキャピタル 丸木)

社外取締役候補の選任には反対する。

私は、特に当社については、以前から社外取締役の必要性とその設置をお願いしてきた。その理由は、当社の大株主であるチヨダは 61%の株式を保有しており、当社取締役の上位 2 名がチヨダ取締役を兼任している状況で、当社の少数株主の利益保護のためには、チヨダに意見の言える社外取締役が必要と考えたからである。

しかし、今回の会社提案の社外取締役候補は、チヨダの 13%を保有する大株主である「いちごトラスト」と同じ舟に乗っている方ようだ。

具体的には、仮にチヨダが当社を 100%子会社化すること考えた場合、大株主のチヨダは当

社株式を安く買いたいであろうが、当社の少数株主は、できる限り高く買って欲しいと考える。ここに大株主のチヨダと少数株主との間に利益相反が生じる。両社の取締役を兼任している役員は取締役会で棄権するだろう。社外取締役はどうするのか。チヨダの大株主のいちごトラストの立場からはチヨダの考え方に賛成すべきだろう。ひょっとしたら棄権するかもしれない。

いずれにしても、このような重大な場面で親会社の味方をする又は棄権することになるような方が、社外取締役としてふさわしいとは思わない。本来は少数株主の利益保護のための存在でもある社外取締役の趣旨に反する。

<回答 6> (回答者 白土社長)

ご意見として承る。いちごのスコットキャロン氏はスチュワートシップコードの策定にも参画した方であり、マーケットを理解している方だ。私は、石塚氏も長年の付き合いである。ご理解いただきたい。

<意見・質問> (質問者 個人株主)

利害関係のある方を社外取締役に選ぶのは認識が甘い。考えを改めていただきたい。私はMBOの被害に何回もあった。

質問だが、他に独立性のある、利害関係のない候補はいなかったのか。

<回答 7> (回答者 白土社長)

私の知る限り、マーケットの声を代弁してくれる方だと思い、選んだ。

議案は全て賛成多数で可決。

最後に石塚氏が挨拶して総会終了。

以上